

稻毛区地域福祉計画


推进協議会だより No.12

平成24年3月15日発行

編集: 稲毛区地域福祉計画推進協議会事務局

稻毛区穴川4-12-4(稻毛保健福祉センター内)

TEL: 043-284-6282 FAX: 043-284-6193

稻毛区地域福祉計画推進協議会

— 23年度第3・4回開催報告 —



第3回



第4回

★区推進協議会の目的・役割★



「花の都・ちば」
シンボルキャラクター
ちはなちゃん

- (1) 区地域福祉計画の取組状況の把握
- (2) 地域福祉の活動団体間の情報交換、連絡調整
- (3) 行政機関や社会福祉協議会との連絡調整
- (4) 区の地域福祉計画に関する広報

原田委員長の提案により、近隣地域別に4つのグループに分かれ、関心のある重点項目について討議を行い、各グループとも活発な意見交換、情報交換が行われました。その後のグループ発表では、「新しい担い手をどう確保するか」「人任せにせず自発的に推進協へ臨む意識改革の必要性」をはじめ、区推進協のあり方については、「様々な分野の方が集う区推進協ならではの進め方をテーマを絞った進め方を」などの意見が出されました。

この他、稲毛区町内自治会連絡協議会所属委員から、東日本大震災被災地の視察報告、委員長から、次年度の第1回区推進協開催に向け、有志委員による検討会開催の提案などがありました。

次に、「黒砂地域防災会議」からの取組み事例報告では、有事には情報の収集、「無事でタオル」での安否確認、全戸調査等を行い、住民の無事を把握すること、公民館を防災拠点とし、近隣4自治会が相互協力のもとで取り組んでいること、安否確認をしつつも誰もが2次災害に巻き込まれてしまうこともあります」とから「許しあえる日常作り」がとても大切であるとの報告がありました。平成23年度第4回区推進協は、平成24年3月3日(土)に稻毛保健福祉センター3階大会議室において開催されました。

平成23年度第4回区推進協は、平成24年3月3日(土)に稻毛保健福祉センター3階大会議室において開催されました。

原田委員長の提案により、近隣地域別に4つのグループに分かれ、関心のある重点項目について討議を行い、各グループとも活発な意見交換、情報交換が行われました。その後のグループ発表では、「新しい担い手をどう確保するか」「人任せにせず自発的に推進協へ臨む意識改革の必要性」をはじめ、区推進協のあり方については、「様々な分野の方が集う区推進協ならではの進め方をテーマを絞った進め方を」などの意見が出されました。

この他、稲毛区町内自治会連絡協議会所属委員から、東日本大震災被災地の視察報告、委員長から、次年度の第1回区推進協開催に向け、有志委員による検討会開催の提案などがありました。

●サロン活動紹介●

皆さまがお住いの地域では、『地区部会』が地域のつながりや助け合いへの意識を高めるための様々な活動に取り組んでいます。今号では山王、稲丘の両地区部会で行われているサロン活動をご紹介いたします。

山王地区部会 ふれあい・いきいきサロン

「ふれあい・いきいきサロン」とは、高齢者とボランティア等の地域住民が気軽に集い、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げる事や、介護予防が期待できる活動です。



風船バレーで元気いっぱい！



お茶とお菓子で話も弾みます！

～ ふれあい・いきいきサロンへのおもい～

本格的な超高齢化社会の進展に伴い、高齢者の一人暮らしや高齢者の夫婦だけの世帯が増え、健康の問題や介護の問題など、多様な課題を抱えています。

かつては、高度成長とマイホームの夢を体現した各地の団地や地区は、いま、どこも、高齢化の悩みに直面しています。当地区も10数年前、高齢者の親睦を深めようと各自治会ごとに老人会を立ち上げ、その多くが60歳代で上部団体とも連携、交流しながら活発な活動を展開してまいりました。その団塊の皆さんも、今はその多くが75歳以上の後期高齢を迎え、当地区でもこのところ毎年100名余りの方々が後期高齢者の仲間入りをされております。これから本格的な超高齢化時代を迎える2020年代初頭ごろまでに、その対応策をいまから広く検討しながら備えることが肝要かと思われます。

幸いに社協が長い間培ってきた、このいきいきサロンの活動「生きがいづくり・仲間づくり・閉じこもり防止・寝たきりや認知症の防止・健康の維持」等々これらの活動のノウハウをベースに、制度の大幅な見直し、内容の検討、いきいきサロン活動の積極的な推進を図り、いま様々な分野で活動されている多くの高齢者の方々の将来の受け皿としての機能が果たされればと期待をしております。

誰もが住み慣れた、この地区を終の棲家と決めておられる方々が多いと思います。高齢者にとって住み良い『まち』の一助になれば幸いに思っております。



山王地区部会長 樋口 勉

お し ら せ



ご存知ですか 千葉市「赤ちゃんの駅」

「赤ちゃんの駅」とは、乳幼児を連れた保護者に、次の★印のいずれか一方、又は両方を提供していただける施設のことです。

★授乳ができる場所 ★おむつ替えができる場所

のマークが目印です。各区役所、各区保健福祉センターなどに設置されています。お出かけの際に授乳やおむつ替えを行う場合には、お気軽にご利用ください。※詳細は下記 URL【千葉市赤ちゃんの駅のご案内】をご覧ください。

※ http://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kikaku/babystation_main.html

稻丘地区部会 ふれあい・子育てサロン

「ふれあい・子育てサロン」とは、子育て中の親子が気軽に参加し、自由に遊んだり、おしゃべりや情報交換をしたり、子育てを楽しみながら仲間をつくり、互いにささえあう活動です。



みんなで遊ぶと楽しいね！



ママと一緒に相談タイム！

～ ふれあい・子育てサロン “WAY WAY” ～

子どもは家族の宝、社会の宝です。地域に住むお母さんが、いきいきと子育てしてほしい・・との願いをもって、平成16年4月から活動しています。

WAY WAY (ワイワイ) おしゃべりして・・

情報交換をして・・お仲間づくりをして・・

こんな気軽な場の提供を心がけています。



月に1回第3金曜日に稻毛台町内自治会館で開催し、毎回10～20組の親子と、8名前後の地域ボランティアの参加があります。

また、稻毛保健福祉センター健康課の協力を得て、年4回保健師・管理栄養士・歯科衛生士さんに来ていただき、相談の場を設けています。

子どもを遊ばせながらお母さん同士が親しく交流し、ボランティアによる絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びをして楽しいひと時を過ごしています。

稻丘地区部会 ふれあい子育てサロン“WAY WAY” 代表 田中 知子

地区部会とは…

千葉市社会福祉協議会の趣旨に賛同し、その地域特有の福祉課題に対して、住民同士の助け合い・支え合いによるきめ細かな活動を行うために、自発的に組織された団体です。市内では、おおむね中学校区を単位として、地域で活動する団体や個人が横の連携をつくり、千葉市社会福祉協議会と協力して地域の福祉活動を推進しています。

「隣近所のお付き合い」が少なくなってきた今こそ、
住民同士が助け合うシステム=地区部会が必要です。

お し ら せ

みなさんはじめて！千葉市社会福祉協議会マスコットキャラクターの
ハーティちゃんです！

「ハーティちゃん」は千葉市社会福祉協議会の創立60周年を記念して、市民のみなさんに千葉市社会福祉協議会への親しみをより一層感じていただくため、地域福祉活動の親善大使として公募によって生まれました。

人なつっこく、陽気で明るい性格。千葉市に住んでいるみんなのことが大好きな妖精です！

今後、皆さんの地域へも行きます。どうぞ末永くよろしくお願いします！



ハーティちゃん

焼きたて、手づくりパンのお店

福祉ショップ ひびき

施設紹介

作業所「ひびき」と私

カラフルリボン（ペンネーム）



私は、24歳で病気になり、14ヶ月間、精神病院に入院し、デイケアを経てひびきへと入所しました。そして、ひびきに8年間通って言える事は、ひびきという作業所がなければ、人間関係を通して自分自身を見つめ直せる場がなければ、今の安定した自分には成り得ないだろうという事です。

ひびきでは、利益重視のみでは当然ないプログラムをたくさん行っています。まず、人ありきです。パン作り、調理、お花、陶芸、レクなど、どのプログラムをとっても、皆の会話と共に楽しく進んでいきます。

ひびきの様に、期限を気にする事なしに、種々な価値観の人の中で、人と人が交流していく中には、自分の固執した考え方や周囲の考え方との差異に気付く事もあり、もう一度、いえ、何度も既存の自分自身に立ち返る事ができる。その事に依って、視野を広め、自分が本当に必要としている物は何かを問いかける事ができる様に思います。

孤独とは、心の成長を塞ぎ止める魔物です。学生時代に、真剣に悩む事すらできなかった私は、今、38歳にして考え直しています。

悩みがないのが良い事ではなかった。今の自分は、悩んでいるからこそその充実感を自信に変えていける自分になりたいです。

その様な事を考えながらも、テレビや新聞などで目にする震災から来る次から次への被害に苦しむ人達を思うと、もっと、もっと、日々の小さな幸せを、自分の物として感じて、生きる力にしていきたいです。これからも、作業所福祉ショップひびきに通いたいです。



【焼きたて、手づくりパンはいかがですか？】



【福祉ショップひびき店頭風景】

〒263-0031 稲毛区稲毛東 2-16-33
TEL & FAX 043-242-5453 (浅間通り 京成稲毛駅そば)

～お客様によろこばれるパンづくりをめざしています～

★営業日・時間

火・水・木の 11:30~17:00 (売切れ次第終了)

★商品

- ・ドイツパン・アンパン・メロンパン 各 100 円
- ・食パン 300 円
- ・クッキー 1袋3個入り 50 円
- ・ケーキ 1袋2個入り 100 円

★予約も受け付けております★
どうぞお気軽にお申し付けください

**特定非営利活動（NPO）法人
地域生活を支援する会**

△△△△△△△△ 編集後記 △△△△△△△△

取材に訪れました「ひびき」。さあさあどうぞと笑顔で促され、店舗脇を内に入れれば、そこはメルヘンの世界！階は複雑に下に伸びて、食堂休憩所を巡り、パン工場に至ります。道路から入って三層最下段に至り、また道路に立つことが出来る不思議な建物。そこに働く皆様は、構造を大いに利として用があれば大きな声を掛けて、その声掛けには相手に応じて微妙に優しくトーンを換えて、何時も気に掛けている思いやりが熱くこもっています。

善意の館の暖かい雰囲気も読者皆様に伝えたいと願う者です。

